

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・朝のオリエンテーションで理念を唱和し意識向上、理念の共有に努めている。 ・プラン作成とケア方法の判断に迷った際は、理念に立ち返るようにしているが、認知・身体状況の重度化や取り組みへの工夫が足りず十分に実践しているとは言えない。			・毎日のオリエンテーションでの理念の唱和を継続し、職員間での意識づけを今後も図っていく。 ・実践へ繋げる為、ひとつでも多く地域と関わる場面を持つことやケア、サービス内容での工夫を図っていく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍によりこれまで実施していた地域行事への参加や出歩きの外出等が出来ていない。 ・コロナ禍においての地域との新しい関わりも見い出せていない。 ・同圏域のグループホームとの連絡会も開催できず、関係性も希薄である。職員から近隣と挨拶を交わす程度である。	・コロナ禍において制限される事が多い為出来る事を続ける。利用者と一緒に散歩をして近隣住民と挨拶を交わす等。 ・町会の行事である加茂神社大祭、原ヶ平町会夏祭り等への招待を検討したがコロナ対策として実現出来ていない。来年度は実施したい。 ・地域で開催されていた行事をグループホーム内で開催してはどうか。広報誌を活用した近況報告はどうか。		・新型コロナウイルス感染防止の為地域行事や活動への参加は困難であっても、入居者様と共に散歩へ出る等出来る範囲で地域や住民と触れ合える場面を持つようにしていきたい。 ・人と会う以外でホームの事を何か発信出来る機会を検討、実施していく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により、今年度は運営推進会議自体の開催が出来ていない。	・出来る方法を考える。感染対策をしっかり行い行う。又は書面での会議等。 ・会議日程はその都度連絡し合って決定したが、コロナの為中止となった。 リモートでの開催にされてはどうか。		・新型コロナウイルス等の感染症の状況を把握し、感染防止対策を講じながら出来る範囲での開催を行っていく。 ・開催が中止となっても、書面でのやりとりを継続していく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営や加算関係にかかる確認・連絡のやりとりはあるが、事業所の実情やサービス等の取り組み内容を伝える場面は無く関係性を構築しているとは言えない。 ・令和2年度を最後に運営推進会議の開催も無い。	・普段からちょっとした事でも連絡を取り、アドバイスや意見をもらう事で相談しやすい関係が築けるのではないか。 ・コロナ感染防止の為に施設への立ち入りを制限しているのだから、対面での伝達が難しい。やむを得ないと思う。 ・対面での開催及び参加が難しい事もあると思うので、リモートや開催日時を工夫してはどうか。		・今後も運営状況や確認事項については、必要に応じて行政の担当者と連絡を取り合うようにしていく。 ・包括支援センターとのやりとりから他法人 GH との情報共有や交流を図る事が出来る機会があれば良いと思う。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法人としてマニュアル・指針を整備している他、勉強会、身体的拘束適正化検討委員会の開催により、弊害や権利擁護等への理解を職員間で		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・不適切なケアは虐待に繋がってしまう恐れがあるグレーゾーンである事を理解する。 ・身体的拘束適正化検討委員会等にお

		り組んでいる		共有し実践するように努めている。 ・物理的な身体拘束の実施はないが、入居者様に待ってもらう場面が多くグレーゾーンが見受けられる。			ける学習の他にも不適切な場面があれば、職員間でケアの見直しや事例検討を行い改善や日々の気づきに繋げていく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法人としてマニュアルを整備し、朝のオリエンテーションや勉強会の開催により心身への弊害、権利侵害の側面、不適切ケアが虐待の芽となる事を職員全体で意識するようにし、インシデントへは虐待の可能性を念頭に入れた原因究明を行っている。 ・毎月一定数のインシデントが発生している。 ・伝え方や言い回しがきつくなる場面がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・インシデントの分析や原因究明を継続し、予防策を確実に実践していくようにする。 ・職員の対応(言い回しがきつくなる等)がそうなる要因を取り除く事が重要との意見を頂く。業務がせわしなく心に余裕がない時に不適切な対応となりやすい為、お互いにフォローし合いストレスを溜めないようにしていく。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	左記内容に関する学ぶ機会無く、管理者の他は制度の理解や支援の活用に至っていない。			・権利擁護に関する制度の勉強会を計画し、知識の習得に努めていく。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・契約時・介護報酬改定時は重要事項説明書を基に運営や事業所の体制・加算・サービス内容等の説明を行うと共に、不安や疑問点の聞き取りを行っている。 ・退居の際は十分な説明と情報提供を行いご本人・ご家族の不安が少なくなるように努めている。			・今後も制度や報酬改定による重要事項説明書の変更があった際には、不安な点や疑問点の聞き取りを行い、解消出来るような説明と対応を行っていく。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日頃の入居者様とのやりとりやご家族の面会の場面において、困り事や意見等を述べて頂けるような話し方に努めている。 ・ご意見箱を設置すると共に苦情受付に関する文書を掲示している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・引き続き面会時やケアプランの見直し時にご家族より意見をもらうようにしていくが、年に1度は懇談会のような形での面談を予定し様々な意見を抽出出来るようにしていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ミーティングや会議の中で提案できる機会を設けている。 ・日常の各場面において各職員に尋ねたり、挙げた意見は受け止め実			・ミーティングや会議の他にも、日頃から職員とのコミュニケーションを密にし日常会話の中から出た意見や提案を大事にしている。

				<p>践するように努めている。</p>			
11	就業環境の整備	<p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・キャリアパスに沿って年2回の人事考課を通して個々の能力や実績評価・日頃思っている事等の把握を行い、やりがいや働きやすさ・給与への反映に繋げている。 ・目標達成への評価から目的・向上心を持って取り組む事が出来るように努めている。</p>		<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・離職への防止に繋がっているかを分析してはどうか、とのご意見を頂く。人事考課を通じたスキルアップの他にも職場の人間関係や休みの取りやすさ等の「働きやすい職場」の視点を持ち、長く法人で働く事の出来るように努めていく。</p>
12	職員を育てる取り組み	<p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・オンラインを活用し法人内外の研修を受ける機会を確保している。 ・人事考課表や面談を活用し個々の課題に合わせた指導育成に努めている。 ・事業計画にある勉強会では、テーマ別に各職員が講師を担ってもらうようにしている。</p>		<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・人事考課を通して、ひとりひとりの課題を明確にしながスキルアップを図る事が出来るように努めていく。 ・法人内外での研修参加、ユニットや法人内GH同士での勉強会を継続し、知識の習得に努めていけるようにしていく。</p>
13	同業者との交流を通じた向上	<p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・コロナ禍により地域の会議、圏域の連絡会の開催がされず他グループホームとのかかわりや交流はなされていない。新たな取り組み内容も無い。 ・法人内グループホームとは情報交換を行っている。</p>			<p>・現在は法人内GHでの管理者参加の会議や意見交換にとどまっている。今後は地域包括支援センター主催の会議に参加をしたり、どこか地域の福祉等のネットワークに関わる機会があれば参加をしていきたい。</p>
14	本人と共に過ごし支えあう関係	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・身体状況の重度化や介助量の増加に伴い、職員から一方的な支援になる事が多い。 可能な範囲ではあるが、なるべく皆が役割を持ち家事を一緒に行う等している。 ・食事や活動等の時間を共有し一体感を感じて頂きながら馴染みの関係作りに努めている。</p>			<p>・身体状況の重度化がすすむ中でも共同生活の理念を大事にし、今後も引き続き食事や活動の時間を共有しながら一体感を感じたり馴染みの関係作りを支援していく。 ・ご家族へは生活状況を随時お知らせし、協力体制を仰ぎながら共に生活を支援出来るような体制に努めていく。</p>

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であっても、可能な範囲で面会をしお互いに顔の見えるような場を設けている。 ・敷地内の通所介護利用者や職員に知人がいる際はスタッフが仲介し近況をお伝えしている。 ・昔住んでいた場所へのドライブ等も行ったが殆ど外出は出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話で声を聞いたり、住んでいた所やよく行っていた場所の写真や動画を見せてはどうか。 ・感染対策に重点を置いているので満足できる結果が得られないのは当然である。 ・オンライン面会やパソコン環境が無い家族の方には写真や動画、近況を手紙にし関係性が途切れないようにしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様ご本人にとって馴染みの場所や人と接する事が出来るように、感染症の状況を把握しながら可能な範囲で対応出来るようにしていく。
----	------------------	---	---	--	---	---

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・本人・ご家族へ尋ねたり生活歴の把握から、一人ひとりの思いや過ごし方に関する要望の把握に努めている。 ・コミュニケーションを工夫し、その時その時の入居者様の意向を尊重するように努めている。 ・記録や申し送りにより体調・認知症状の共有に努め、サービス内容に随時反映させている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・入居時の面談においてご本人、ご家族から生活歴や在宅時の過ごし方、趣味、嗜好の把握に努めていく。 ・認知症状により思いや意向の確認が困難な方であっても、表情や会話の中からその時の気持ちを汲み取りサービスに反映出来るように努めていく。 	
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画作成時はご本人・ご家族から意見を頂き反映している。 ・職員からも随時意見をもらうが、皆で集まって話し合う機会がなかなか持てない。 ・医療面に課題がある時は医師や法人看護師から情報を収集し、状態の見通しを立てながら計画に反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面で出来る会議もあるので活用してはどうか。 ・職員間の連絡は改善出来ると思うので工夫して欲しい。 ・施設内外での研修への参加をすすめる。介護計画の共有とチームでの連携が不可欠である為、職員間の連絡の取り方を見直してはどうか。 	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・生活上の課題を明確にしていく為、職員同士集まって話が出来ない時でも日々のコミュニケーションを密にし普段から意見や提案をやりとり出来るようにしていく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・生活状況を個別記録に残し、職員間での情報共有と一人ひとりへのケア、介護計画の見直しに活用している。 ・認知症状への気づきや提案をうまく共有出来ず、ケアにバラつきが出る事がある。 		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・身体状況や認知症状の変化に留意した観察を行い、随時のアセスメント結果をケアプランに反映し計画作成担当者からの周知、共有を行っていく。 ・ミーティングやスタッフ会議等で利用者の対応の仕方を確認する必要があるのでは、とのご意見を頂く。記録物のみではなく、日々の申し送りでは口頭でも入居者様の行動や言動をこまかく伝え、適切な対応に繋げる事が出来るようにして

							いく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・認知症状や身体状況の重度化により、グループホームの設備や人員配置では限界を感じるが特養等へのサービスの移行がうまくいっていない。 ・身体介助量が多く、認知症状への支援に手がまわらない。グループホームらしさが感じられない。	・職員の業務量が多くなっている事を法人の長に伝え、改善の方法を検討する必要がある。 ・慢性的な人で不足を解消する事が出来なければ改善の可能性はないと思います。 ・認知症状に対する理解及び支援方法の見直しをしてはどうか。		・事業所の性質やと居者様の身体状況を踏まえ、現在のサービスが入居者様の負担や生活の質に影響していないかを随時検討していく。ご本人、ご家族へも丁寧に説明し、サービスの移行となった場合でも介護支援専門員との連携をサポートしていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍によりこれまでの地域行事への参加や訪問・学生との関わりが無くなった。 ・地域資源の利用や人的ネットワークの構築には至っていない。	・地域に出向いていけなくても法人に事業所があるので、法人の事業所との関りを続けていってはどうか。 ・現状では難しいが施設の機能・役割を再確認する必要がありますと考えます。		・事業所が季節を感じる事の出来る良い環境にある為、近隣の散歩の他ドライブにも出掛ける等まずは地域に触れる機会を少しずつ増やしていけるようにしたい。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居時は馴染みの関係性を重視し、在宅時のかかりつけ医を継続できるように支援している。 ・その他はご本人・ご家族の納得が得られた医療機関を受診し移動や付き添いの支援を行っている。 ・外来が難しくなった時は継続して受診ができるよう、訪問診療等の調整を行っている。			・在宅時からのかかりつけ医を継続して受診出来るように支援し、関係性が途切れないようにしていく。 ・身体状況により外来通院が難しくなった際は事業所の協力医療機関との連携について説明し、訪問診療等の調整を図っていく。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入院した際は速やかに医療機関への情報提供を行っている。 ・入院中はご本人の状態確認と、ご家族や医療機関との情報交換及び退院に向けた調整を定期的に行っている。コロナ禍により病院に出向く事は控えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入院された場合には医療機関への情報提供を行い、担当者と退院後の受け入れ体制についての相談・情報交換から早期に退院が出来るように支援していく。 ・退院時は生活上の留意点を医療機関へ確認、把握した上でホームでの生活を安心して送れるように反映していくようにする。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共に	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・重度化や終末期のあり方について、日頃からご家族に対し病気や身体状況の見通しを示しつつ理解し易いような説明を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居時に重要事項説明書に記載してある重度化や看取りに関しての説明を行い、事業所に対応出来る内容を丁寧に説明していく。

		チームで支援に取り組んでいる		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の意向を踏まえつつ事業所の性質や方針を共有し、随時サービスの移行を検討した。 ・支援の中に地域の関わりは無い。 			<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状態の変化に合わせて随時ご本人、ご家族との面談の機会を設け、終末期における意向やその後の具体的なサービス内容を検討していくようにする。 ・看取り時は地域の医療体制を把握し、支援に結び付けられるようにしていく。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に勉強会を実施し急変時の対応を学ぶ機会を設けているが、発揮する場面が少なく自信を持って対応出来るとは言えない。 ・終日併設通所介護事業所の看護職員と連携を図っている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・法人内や事業所内の勉強会のテーマとして「急変時の対応」を取り入れ、実践的な内容を学ぶ機会を設けるようにしていく。 ・習得した知識は全職員で共有する。 ・事故発生時は必要に応じて看護職との連携やご家族への報告を密に行い、適切な対応となるように努めていく。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回火災想定総合消防訓練と毎月ユニット内における消防訓練を行っているが、コロナ禍より規模を縮小し実施している。 ・食糧や水・ストーブの備蓄品はあるが発電機は無い。 ・地域との協力体制が殆ど無く、訓練も火災に特化し実施している為他の災害についての訓練や準備に不足がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で協力出来る方をリストにして連絡網を作成してはどうか。 ・避難等に関して、聖愛中高にも協力して頂くのはどうか。 ・事業所の近隣の地域、町内での訓練を実施する。発電機の有無によって利用者の方々への影響にも差が生じる為、購入を検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に備え、自家発電設備の設置を法人内で検討する。 ・地域の人々を交えた災害対策を検討していく他、BCP(業務継続計画)の策定と併せて総合的かつ実践出来るような対応をひとつでも多く各職員が意識し身につけるようにしていく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様個々の認知症状や性格・習慣の理解に努め対応しているが、業務効率上職員本位で行動をお願いしてしまう事がある。 ・排泄や更衣等の場面では羞恥心やプライバシーに配慮しているが、転倒リスク等の対応で不十分になっている。 		<ul style="list-style-type: none"> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も入居者様個々の認知症状や性格・習慣の理解を深め、ご本人の意思尊重した対応に努めていく。 ・排泄や入浴介助、又転落や転倒リスクがある方への対応等やむをえない部分がある中でも、常にプライバシーへの侵害を意識する。意識や配慮をする事で、プライバシーの侵害への影響を少なくしていく。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度一人ひとりのペースを尊重した支援に努めているが、入居者様の身体機能の重度化・介助量の増加に伴い職員側の都合で、ある程度過ごし方を決めてしまう事がある。 ・お願いするような伝え方等、相手の受け止め方に配慮した接遇を心掛けている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのペースや生活習慣を尊重した対応に努めていくが、入居者様の身体機能の重度化・介助量の増加に伴い行動を依頼する際は、お願いするような伝え方や相手の受け止め方に配慮した接遇に今後も留意していく。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・準備や後片付けを可能な範囲で入居者様と一緒にしている。 ・感染予防対策をとりながら入居者同士がテーブルを囲み団らんの時間を取るようになっている。 ・定期的に昼食の出前を取る、おやつ作りの行事を行っている。 		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・単に食事を栄養摂取のみと捉えず、生活上の楽しみや他者との交流等社会的な側面を有する事を理解していく。 ・食事の準備や後片付けを可能な範囲で入居者様と一緒にいたり、入居者同士でテーブルを囲み食事が出来ている為、今後も継続していく。 ・食事の出前や弁当を注文したり、手作りのおやつを味わう等の支援を継続していく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・外注でのクックフリーズと法人内栄養士で作成した献立を組み合わせ調理している。 ・食事や水分摂取量、体重・BMIを観察し不足している時は体調や好みに合わせた物で補っている。 ・食事動作、促しの介助が多くなっている。ケア方法や食事形態・用具の工夫を図り、なるべくご自分で召し上がる事が出来るよう支援している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・現状の食事で栄養バランスはとれていると思われる。食事や水分摂取量、体重やBMI等の測定、体調や健康面から見た栄養補給等状態に合わせた対応を今後も継続していく。 ・認知症状により摂取動作が困難である場合には、少しでもご自分で召し上がる事の出来る支援を行いながらも状況に応じて介助を行うようにする。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、一人ひとりの身体機能に応じた方法で口腔ケアの誘導・介助を行っている。 ・機能維持の為に口腔体操を行っている。 ・法人の協力歯科医からケアへの助言を頂き、口腔ケアへの意識と技術の向上を図っている。 		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみの一環としての社会性や気持ちよく過ごして頂く為に、口腔ケアの重要性を全職員で意識していく。 ・今後も毎食後にひとり一人の身体状況や認知症状に応じた方法で口腔ケアの誘導や介助を確実に実施していく。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の身体機能や排泄間隔を把握し、可能な限りトイレでの排泄を支援している。 ・パッド類は必要最低限の使用としている。 ・牛乳や水分を多めに摂って頂くが、便秘者が多く下剤に頼っている現状がある。 		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個々の身体機能や排泄間隔を把握し、体の負担とならないように注意しながら可能な限りトイレでの排泄を支援していく。 ・随時排泄に関しての調査を取り入れながら、パッドや紙パンツは最低限の使用となるようにしていく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴回数の確保の都合上、おおよその曜日や時間帯を決めお願いしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・週2回の入浴を目安としているが、入浴日や時間はご本人の生活のペースを尊重しつつ対応していく。 ・入浴前のバイタルチェックや体調確認、入浴時の見守りを確実にを行い安心して入浴出来るように支援していく。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの習慣や体調、疲労感に応じ、休息や安眠が出来るように支援している。 ・睡眠障害がある時は日中の活動を考える、かわり方を工夫する、室温等の環境を整える等行い改善が難しい時はかかりつけ医へ相談し対応している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・今後も一人ひとりの習慣や体調、疲労感に応じ、室温や寝具等の環境を整えながら休息や安眠が出来るように支援している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・薬内容を個別に管理し服薬内容を常に把握できるようにしている。 ・処方薬は職員で管理している。 ・服薬の影響と症状の変化の確認に努め、特に処方変更時は注意して観察している。 		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・薬内容は個別にファイルし服薬内容を常に把握出来るようにしていくとともに、特に処方変更時は服薬の影響と症状の変化の確認に努め、身体状況と症状の変化に注意して観察していく。 ・処方薬は職員で管理し服薬時は名前や薬袋の読み上げや複数名での確認を確実にしていく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から明るく話題を持ってかかわるようにし、時には冗談を交え相手の気持ちが活気づくようにしている。 ・業務がたてこんでいる時には全体的にかかわりが薄く、たんたんとして身体介助を行っている事もある。 ・生活に根ざしたアクティビティの実践を図っているが、限られた方のみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居している方の状態は個々に違う為、その人に合った楽しみや気分転換を考えてあげていいと思います。限られた方とそうでない方の対応は違っているのではないかと。 ・声掛けのルーティンを決めて自己チェックするなどの工夫をすれば少しは楽になるのか。多忙解消が第一ですが。。 ・利用者一人ひとりの特性や残存能力を活かした 		<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様個々の身体状況や認知症状を把握し、調理のお手伝いや洗濯物等生活に根差したアクティビティの実践を可能な範囲で今後も行っていく。 ・日々の介助の中で少しでも気持ちが活気づくような会話を取り入れるようにしていく。 ・過ごし方にメリハリがつけられるよう

				対象となっており不足がある。	役割を持って頂く事で、日々の生活にハリが生まれると思う。		に、時には外気に触れたり新しい作業にチャレンジするなどし意欲が湧くような機会を持つようにする。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍により通院介助の他は意図的に外出を控えている。 ・外気に触れ気分転換となるような散歩やドライブのみである。	・外気に触れる程度でも、頻度が多くなれば楽しめると思います。 ・風景写真を見せたり、お店に来て頂き買い物をするのはどうか。		・敷地内や近所への散歩の他、感染症の状況を把握しながら少人数ずつでも外出出来るような機会を設けるようにしていく。 ・普段のかかわりの中で写真や動画を活用し、話題となるようにしてみる。 ・外出時は店舗や観光スポット以外にも、住んでいた地域や時にはご家族の協力のもと自宅にも寄る事が出来るような支援を検討していく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・買い物外出や訪問販売の機会が無くなり、入居者様がお金をやりとりする場面が無い。 ・認知症状により所持している金銭を紛失してしまう為、職員での管理が主である。			・感染症の状況を把握し、商品を手にとって買い物が出来るような場面や自動販売機での購入を通しお金を扱う場면을少しでも持つようにしていく。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・希望に応じて家族に自ら電話をする支援をする他ご家族からの電話を本人に取り次いでいるが頻度はだいぶ少ない。 ・ご家族より手紙が届いた際には一緒に読み上げ、内容に共感する支援を行っている。			・今後も要望に応じて事業所内にある電話を使用して頂き、ご家族とやりとりする機会を設けるようにする。 ・希望があれば手紙や年賀状を出せる支援を行っていく。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・環境が与える認知症状への影響を理解し、家庭的な家具や植物の配置、季節に応じた装飾・温度調節・カーテンや照明による明るさの調整に努めている。 ・職員の動線が忙しくBPSDの要因となっていると思われる場面が多い。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	環境整備に努めているのにBPSDの要因になりうる場面が多い？出来ているのではないかと。 忙しい業務の中でも声掛けに気をつける事で、利用者の方の反応も変化するのではないだろうか。とのご意見を頂く。 ・今後も家庭的で穏やかな雰囲気を感じられるように努め、植物の配置や装飾、照明や音の調整等から混乱や焦燥感に繋がらないように注意していく。 ・業務がたてこんでいる時でも、入居者

							様の前を通る時はなるべく走らないようにする。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率やコロナの影響により制限をお願いする事が多い。 ・職員本位な部分もあり意向に沿っているとは言えない。 ・各場面において日常的に意向を確認しているが、認知症状が重度かつ意思疎通が困難な方については表情や心身の状態を観察し安楽で無理のないようなケアに努めている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ入居者様へ関わる場面において日常的な意向の確認を継続して行い、認知症状が重度かつ意思疎通が困難な方については表情や心身の状態を観察し安楽で無理のないようなケアに努めていく。 ・直接入居者様へ尋ねる他、普段の会話の中から日々思っている事や要望を抽出出来るような意識でかかわるようにしていく。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・生活歴や生活習慣、趣味・嗜好等の情報をご本人やご家族、入居前のサービス事業者から情報収集しケアに反映するように努めている。 ・入居後の生活ぶりからも観察し活かすようにしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・今後もの他随時ご本人の生活習慣、趣味・嗜好等の情報をご家族や入居前のサービス事業者から情報収集し入居前の生活や人との繋がりを継続出来るように支援していく。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症状によりご自分で症状を訴える事や健康管理が困難な方が大多数である為、随時の体調確認の他・服薬管理や受診の支援を行っている。 ・転倒リスクの高い方が多く、センサーの活用や随時の付き添いを行っている。 		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症状によりご自分で症状を訴える事や健康管理が困難な方が大多数である為、今後も随時の体調確認の他服薬管理、受診の支援を行っていく。 ・転倒リスクの高い方が多い為、リスクの予見を意識した付き添いやセンサーの活用により怪我を防止していく。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅時のペースを尊重し、なるべく反映出来るようにしている。 ・会話や閉じられた質問にて意向を確認しているが、認知症状によりその時の意思の把握が難しい時は体調や疲労感、表情等心身の状態により判断している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活がベースにあり事業所で定めた日課が主になってしまうが、その中でも個々の生活習慣やペースを尊重したケアを意識し、その時の意向を反映したり在宅時の生活リズムが継続出来るような支援を行っていく。

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・入居時に生活環境の継続性の意義をご本人・ご家族へ説明している。在宅時と同じ家具や大事にしている物、家族の写真等を置く事で、安心感や環境変化による心理的なダメージに配慮している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・今後も入居時には生活環境の継続性の重要性をご本人・ご家族へ説明し、在宅時の居室環境や家族の写真等を整備し、安心感を得たり環境変化による心理的なダメージに配慮していく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	・コロナ禍や介助量の増加による業務の影響により、要望があってもすぐに出掛ける事が出来ていない。対応まで日数がかかっていたり、敷地内の散歩等にとどまっている。	・ご本人へきちんと説明したり、見通しをつけた約束をする等お話をした上で待つて頂くのであれば良いと思う。感染防止対策を講じた上で、可能な範囲でご家族へも協力を仰いでみてはどうか。		・ご本人、ご家族から要望があれば実施の見通しを説明し実現出来るように努めていく。感染症の状況により、ご家族の協力を仰いでいく。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・個々に持っている能力を発揮出来るように、家事等の役割や余暇活動、生活動作の実施に反映しているが業務状況により介助してしまう場面も多い。			・出来ない事よりもその人の「出来る事」に着目し、個々の能力や意欲を発揮出来るように家事や余暇活動の中で役割を持てるように支援していく。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・身体機能や認知症状の重度化が著しい中でも、活気を引き出すようなかわりやアクティビティの実践を可能な範囲で行うようにしている。 ・何もしないでテレビを見ていたり職員がかかわりを持っていない場面もある。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化している入居者でも声掛けして笑顔になってくれたら活気を引き出せていると思います。業務をしながら声掛けをする、利用者の方に手伝ってもらう場面を見つけだすのはどうか。とのご意見を頂く。 ・今後も身体機能や認知症状の重度化がある中でも、活気を引き出すようなかわりやアクティビティの実践を可能な範囲で行うようにしていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	・コロナの影響もあり、そのような機会は持っていない。	・歩ける利用者さんと近所を散歩して挨拶するだけでも交流になるのではないかと。 ・交流の場の設定が難しい。来年はどうか？ 以前の行事の様子を見せる機会を設けてはどうか。		・感染症の状況により交流の場が無くなってしまったが、やり方を変えた方法や従来の場を1つでも多く持てるように検討をしていく。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・何もやる事がなく過ごす場面もあり充実しているとは言えないと思うが、様々な制限がある中でも職員のかかわりで笑顔になっている時が多い様子。 ・コロナ禍により外部との関係性は希薄となっているが、日々の支援や	・コロナ禍で制限がある中、笑顔で過ごす場面があるのであれば笑顔を増やす取り組みをするのが一番だと思います。 ・人との関りは大切です。職員との関係が楽しいものであれば日々は充実していると思います。ご家族との面会が多く出来るようになれば良いですね。 ・利用者と職員が安心して過ごせる一時を施設で	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・その時々で入居者様が笑顔になれるような取り組みを継続していく。 ・ホームの理念に近づける事が出来るように、日々の支援や屋内活動を通し健康的かつ認知症状の緩和を図る事が出来るような支援を追求し取り組んでいく。

				屋内活動等を通し健康的な生活の維持・認知症状の緩和に努めている。	見直し、やりたい事やしてみたい事を出し合う。笑う場面があれば精神的にも安定されていると考える。		
--	--	--	--	----------------------------------	---	--	--